



THE ROTARY CLUB OF NAGANO WEST 長野西ロータリークラブ



例会 毎週金曜日 12:30～13:30 ホテル国際 21
事務局 〒380-0838 長野市県町 576 ホテル国際 21 内
☎026(235)2800 FAX026(235)0016
e-mail:nwrc1987y@sweet.ocn.ne.jp

会長／村田弘志 幹事／瀧澤 聡 クラブ会報委員長／小山亮一
SAA／清水光朗 副SAA／中島 勉

第1530回例会 2019年（令和元年）9月13日（金）

ロータリーは世界をつなぐ ROTARY CONNECTS THY WORLD

会長挨拶

村田弘志会長

今日は航空機の救難についてお話しします。毎年、8月12日になりますと、日航123便の墜落事故に関する報道があります。あの事故は、航空機が緊急状態に陥ってからの状況がリアルタイムに把握できた事例です。到着予定時刻になっても目的空港へ着陸しない等の異常事態が起きることがあります。通信が確保されている場合、遭難の状況であればMAYDAYという遭難信号が通報されます。日航機事故の場合は、遭難信号を受信したので直ちに捜索救難体制を敷くことができました。一方、通信が確保されずに行方不明になった場合には手順が決められています。例えば到着予定時刻から30分を経過しても航空機の所在が不明の場合、救難調整本部（RCC）が設置され「不確実な段階」となります。この段階では予定経路上の通信機関が当該機を捜索します。第1段通信捜索です。この第1段通信捜索を30分行っても所在不明の場合、「警戒の段階」となり、到達可能範囲の通信機関が捜索します。これを拡大通信捜索と呼びます。拡大通信捜索を1時間実施しても不明の場合、「遭難の段階」となりRCCは警察、自衛隊等に出動要請をします。日航123便の場合は、遭難の状況をリアルタイムに捉えることができたので早い救助体制が取れましたが墜落場所が山奥であったことと、夜であったことが悔やまれます。

9月のお祝い事

おめでとうございます

<結婚記念会員> 村田弘志さん 竹重王仁さん
<夫人誕生記念> 村田美佐子さん 清水昌恵さん
<会員誕生記念> 伊東義次さん 小林健治さん
大橋東二郎さん 清水 満さん



幹事報告

瀧澤 聡幹事

* 第3回クラブ協議会報告

- ・本日竹内喜宜ガバナー補佐は、戸倉上山田RCのガバナー公式訪問に同行されています。
- ・次週20日と27日は、定款（祝日を含む週の例会は休会にできる）に基づき休会。次回例会は10月4日の竹内ガバナー補佐事前訪問例会。
- ・皆さんにお伺いした新会員候補の西沢正樹さんですが、異議がなく10月から入会予定です。
- ・10月5日の秋の親睦ゴルフと松茸鍋懇親会の出欠を本日中にお願ひします。

10/4 本日のプログラム

竹内喜宜ガバナー補佐事前訪問例会

ゲスト (株)アโดイシグロ 石黒ちとせさん

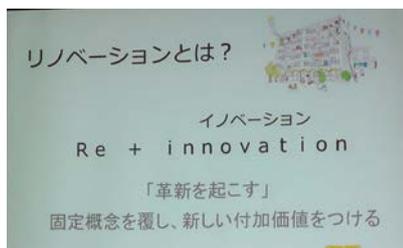
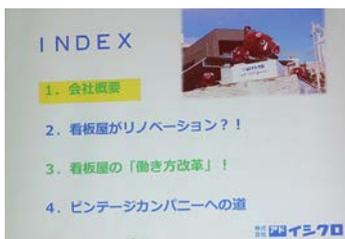
- ・飯田弘己さん☆妻幸子が8月23日に他界しました。故人の遺志により近親者のみで葬儀等を済ませました。クラブより生花等を頂きありがとうございました
- ・川橋昭義さん☆福島の自宅が解体になりました。名残惜しいです。
- ・南 信行さん☆ご無沙汰しておりました。
- ・村田弘志さん☆皆さん、ニコニコBOX投入よろしくお願いします。
- ・瀧澤 聡さん☆石黒ちとせさん、卓話を楽しみにしています。
- ・清水光朗さん・西沢 徹さん☆石黒さん、日頃お世話になっています。本日卓話を楽しみにしています。

・合計 14,000円 ・スヌーピー 5,897円
 ・累計 146,919円

講師紹介 西沢 徹例会運営委員長



当初は、私に卓話をとということでしたが、同級生の石黒さんをお願いしました。看板屋さんですが、面白い事をされています。是非そのお話を聞いて下さい。よろしくお願いします。



例会案内

- 10月11日 会員卓話 小山亮一さん
- 10月18日 ガバナー公式訪問例会
- 10月27日(日) 地区大会 於：松本
*25日(金)例会振替

ゲスト卓話 石黒 ちとせさん

「ビンテージビルプロジェクトとリノベーション」



創業90余年の老舗看板制作会社アโดイシグロは、『長野ビンテージビルプロジェクト@光ハイツ』と称し、本業の技術やデザイン力を活かして敷地内にある6階建の賃貸共同住宅「光ハイツ」のリノベーションにも取り組んでいる。

2006年代表へ就任後、新規事業を模索。同時期「光ハイツ」の空室化や老朽化に悩む。

古い建物の廃墟化や駐車場化の問題は、地域の活力のために看板屋としても取り組むべきソーシャルビジネス（社会課題解決型事業）であると考えアโดイシグロの新事業とした。古い建物を壊すのではなく、大切に使いその魅力と価値を引き出すことで、新築偏重で画鋏一つ打てない日本の未熟な住文化（賃貸住宅事情）を革新し豊かにすることを目的とする「ビンテージビル創出事業」に挑戦している。光ハイツと同一敷地内にアโดイシグロがあるので看板制作工房でクラフトマン（職人）達と一緒にDIYを楽しめる環境も活かし「ものづくりビル」として光ハイツを実験台に事業を展開中。賃料UPも実現している。個性豊かな部屋作りだけではなく、町に開かれたイベント開催による文化発信や、入居者さんや地域の人達とのコミュニケーションに力を入れ、古い建物がまちのランドマークになることを目指している。

サイン業でもソーシャルビジネスを開発したいと考え「会社リノベ」もスタート。看板とともに、社内の空間をリノベーションにより豊かなスペースに変身させ、働く人たちのモチベーションUPをしたり、作業場など普段見せない場所もOPENにしたりすることで会社を地域に開き発信することが出来る。打合室リノベ・作業場リノベ・トイレリノベなどなどアโดイシグロを実験台にみんなで楽しく進めている。

長野県の看板点検義務化に伴う安全面でのサポートも強化しつつ、アโดイシグロはこれからも魅力的な看板やユニークな仕事を増やしていきたい。